

千葉市議会議員

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2018年初夏の便り号 (通算第37号)
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108
ホームページは **亀井たくま** で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.ne.jp



ごみ減量・リサイクル推進を! 密集住宅市街地の改善を! 市の歴史・伝統を保存・継承し、誇り高き千葉市を!

市民の皆さん、こんにちは!いつも市政へのご理解ご協力をありがとうございます。平成30年2~3月定例議会は、2月20日~3月15日の日程で開催され、亀井たくまは予算審査特別委員会での質疑(4面参照)とともに3月13日に28回目の一般質問に登壇いたしました。質問・答弁の内容を抜粋・要約してご報告申し上げます。(市議会ホームページで録画放映がご覧いただけます)
皆様の政治をもちまして、議会活動も2期8年目を迎えました。またちょうど今年はお政治の世界に飛び込んでから20年となります。これからも初心を忘れずに、研鑽を重ねてまいります。皆様の叱咤をよろしくお願い申し上げます。

1 ごみ問題とリサイクルの推進について

- Q 高齢化の進行や地域力の低下に伴い、ごみステーション管理やごみ当番をめぐる問題が起きている地域もあるが、市の認識と対応は。
- A 市内のごみステーションは3年間で2000か所(10%)増加し、約24,000か所となっている。地域によっては高齢者が多く、ごみ当番のなり手がいないとの相談や、ルール違反の不適正排出や不法投棄の相談が寄せられている。今後も不適正排出・不法投棄が多いごみステーションでは、昼間・夜間の監視パトロール、町内会への監視カメラの貸与を行うなど対策に努めていく。
- Q 多くの地域で、アパートやワンルームマンションが建設され、地域からは不法投棄への懸念が寄せられている。アパートや共同住宅のごみステーション設置と不適正排出に対する市の対応は。
- A アパート等所有者に対して、市の指導要綱に基づいて、専用ごみステーションの設置や居住者への排出指導等の対策を講じるよう指導している。また、アパート居住者が地域のごみステーションを使用する場合には、不適正排出が多い場合には、ごみ袋の開封調査などにより、排出者を特定し、個別指導を行っている。今後もパトロールや定点監視などとともに指導を行っている。
- Q ごみ減量・リサイクルの推進を。「剪定枝収集事業」のさらなる推進を。
- A 昨年4月から中央区で開始し、今年2月からは全区で分別収集を実施している。目標に対して79%の収集量であり、収集量が伸び悩んでいる地区を分析し、早朝啓発などの周知啓発に取り組む。
- Q 食品ロス削減対策のさらなる推進を。
- A 市内の飲食店や事業者と連携して、啓発活動に取り組んできたが、今後は大型商業施設などで啓発イベントを開催し、こどもを含めてすべての世代が体験し、学べる取り組みを進め、食品ロス削減に努めたい。
- Q 焼却ごみの半数を占める「生ごみ」減量や再資源化へのさらなる取り組みを。
- A 生ごみの発生抑制に向けて、「使い切り、食べ切り、水切り」の「3キリ」推進の普及啓発を強化したい。30年度は「生ごみ水切りモニター事業」や「生ごみ減量リーフレット」をわかりやすく改善していく。
- Q 小型家電回収事業の促進を。携帯電話・スマートフォンは個人情報対策の徹底でさらに改善していく。
- A 小型家電は毎年約9トン回収し、携帯電話・スマートフォンは1月末までに約3900個(390キロ)を市民から回収している。回収した携帯電話等は、個人情報保護の漏えい防止を徹底している。

(1)

- Q 市民・民間事業者がさらにごみ減量に取り組むためのインセンティブ(特典)付与は。
- A 今後、生ごみ減量処理機等の活用により、乾燥させた生ごみを持ち込んだ市民へのポイント付与する制度など、先進都市の取り組みを参考にしつつ、本市でも魅力的なインセンティブを検討してまいります。

亀井はこう考える! リサイクル先進都市から、さらなるエコシティへ!

人間の生活あるところ、ごみ問題は避けては通れない道ですが、高齢化の進行や地域力の低下に伴い、地域によっては、ごみステーション管理やごみ当番をめぐる課題、ごみの不適正排出・不法投棄の課題が顕在化している地区もあり、今後もますます進む恐れがあります。このことは「地域力」という観点からも、市全体で捉えるべき課題と提起しました。また、昨今では、アパートやワンルームマンションが随所で建設されていますが、狭い地区やごみ収集車が通れない場所では、アパート敷地内にごみステーションの設置をしなくてもよく、地域のごみステーションを使用するために、地域から不法投棄の懸念が寄せられたり、トラブルが発生しています。適切な指導強化と対応を求めました。
本市では、市民の皆様の分別リサイクルの協力によって、29年度もごみ減量の目標(前年度比2000トン減)を達成するとともに、6年連続でリサイクル率1位に輝いています。心から感謝を申し上げます。私がこれまで質問・提案を行ってきたリサイクル施策では、2月から全区で始まった「剪定枝収集事業」や携帯電話・スマートフォン回収も始まった「小型家電回収事業」が効果をあげています。回収された小型家電は東京オリンピック・パラリンピックのメダルに生まれ変わります。ぜひ、リサイクルにご協力ください。
今後は「生ごみの減量・再資源化」「食品ロス対策」などの新しい施策展開も急がれます。こどもたち向けには、今年度から「学校給食の食べ残しリサイクルのモデル事業」も始まる予定です。ごみ減量・リサイクル・ごみの発生抑制は、市民の皆様のご協力なしには実現できません。ごみの減量・発生抑制やリサイクルをした人にはポイントやインセンティブが付与されるような仕組みづくりも求められます。

2 密集市街地対策について

- Q 中央区に多い「密集住宅市街地13地区」では、少しずつ建て替えやセットバックが進んでいるが、地区の現状と市の課題認識は。
- A 詳細な調査を行っていないが、建て替えや除却が進んでおり、地区の安全性はわずかながらも向上していると認識している。市としては、重点2地区については、道路の拡幅整備、耐震性貯水槽設置などの整備計画に取り組んできたが、早期の実現は困難な状況と認識している。
- Q 密集住宅市街地への支援を。「感震ブレイカー設置事業」の早期導入を。
- A 大規模地震時の火災の延焼防止をはかるため、重点2地区(椿森3丁目、稲毛東5丁目)には簡易式の感震ブレイカーを順次配布し、その他の11地区には町内自治会などで設置を進める場合に費用を助成していく。事業効果の検証を行い、市内でも設置促進に取り組んでまいります。(→詳しくは4面へ)
- Q 火災が起きてもすぐに対処できる地域づくりを。初期消火や防災力向上を。
- A 密集市街地では、住民の初期消火が重要と認識している。県水道局と協議を通じて、火災時に排水栓を使用できるようになり、現在、要員育成や資機材配備の支援を行っている。訓練実施などにも取り組む。
- Q 耐震化・不燃化へのさらなる取り組みを。家の取り壊しや建て替えへの補助制度創設を。
- A 13地区では、耐震化促進の啓発リーフレット配布や戸別訪問による情報提供を行い、29年度は耐震改修の補助金の限度額引き上げを行ってきた。建物の取り壊しや建て替えの促進策は、今後検討してまいります。

亀井はこう考える! 災害に備え、密集住宅市街地の安心・安全づくりを!

市内には13地区の密集住宅市街地(道路が狭い、木造住宅が多い、住宅が密集している地区)が存在しており、地震・災害時の対策が求められています。私自身も重点2地区である椿森3丁目に住んでいます。これまで重点2地区では狭い地区内の道路の拡幅事業等が提案されてきましたが、沿道の住民の方々には大きな負担となることから、道路拡幅によらない安全対策を求めています。
新年度予算では、密集住宅市街地への「感震ブレイカー設置事業」が計上され、今後、30年度に稲毛東5丁目、31年度に椿森3丁目は無償配布され、他の11地区でも町内会で導入する場合に補助を行う予定です。一刻も早い実現と他の11地区へのさらなる支援にも取り組んでまいります。
このほか、私からは「初期消火体制・防災力向上」「管理不全の空き家対策」「公園・市有地の利活用」「防災設備の整備」「防災空地の確保」などの取り組みを求めました。また、災害や火事に強い地区に向けては、耐震化・不燃化の促進が重要です。13地区内で改善が必要とされる住宅は2400軒にのぼ

(2)

ります。市では耐震診断・耐震化への補助を行っていますが、さらなる改善促進のため、「建物の除却」や「建替え」の補助制度創設や補助強化を求めました。

3 市の歴史を保存・伝承するための取り組みについて

- Q 地域の歴史を保存・伝承するために、地域に眠っている古文書等の積極的な保存・活用を。
- A 郷土博物館では、市の歴史に関する古文書について継続的に調査しており、市民に資料提供を呼びかけている。重要な資料は、所有者と相談の上、寄贈や寄託という形で受け入れ、保存しており、これまで古文書13万点を整理、7万点を保管している。今後も古文書の調査・研究を続け、古文書講座・市史研究や「千葉市史」への活用等に努めていく。
- Q 市所有の貴重な歴史的資料のデジタル化や共有化は。
- A 埋蔵文化財の出土資料は一部をデジタル化し、公開が進んでいるが、郷土資料館の資料は個人所有が多いため、公開作業は進んでいない。保存・活用のため、今後、所有者の理解を得て、デジタル化を進めたい。
- Q 市の歴史保存・継承のためには、専門的知識・やる気のある職員の力が必要だ。学芸員の配置や育成は。
- A 郷土博物館では5名の学芸員を配置し、うち3名が歴史学、2名が考古学を専門としている。加曾利貝塚の特別史跡化に向け、考古学専門の職員の増員を図ってきたが、今後も古文書が読める歴史・民俗を専門とする学芸職員の確保を検討するとともに、資質向上に努めてまいります。
- Q 市内にある「歴史的名所」の積極的な活用を。より理解が進むようなわかりやすい案内表示の取り組みを。歴史的ロマンあふれる「君待橋」の活用を。
- A 市内90か所の歴史的名所・文化財に説明版を設置しているが、今後、ホームページに詳しい案内図や散策マップなどを掲載する。「君待橋」については、本年、千葉常胤誕生900年であることから、郷土資料館での企画展や、歴史散歩コースに組み入れることを検討し、活用を図ってまいります。
- Q 市制施行100周年(2021年)に向けて、市民意識の醸成を。市の歌「千葉市歌」のさらなる活用を。
- A 提案を受け、平成28年より成人式で市歌斉唱を行っている。29年度は郷土学習が始まる小学3年生に、加曾利貝塚、大賀ハスなど「千葉市の自慢」を紹介する下敷きを配布したが、その片面に「千葉市歌」の歌詞も掲載した。千葉市制100周年に向け、さらなる取り組みを検討してまいります。
- Q 「郷土博物館」の今後の充実を。5階展望室の有効活用を。
- A 今後、展示環境を整備し、古代から現在までの通史展示を実施するため、改修を検討してまいります。また、各学校と連携し、郷土学習・校外学習の支援の充実を図っていく。5階の展望室については、市内を一望できる貴重な場所であることを活かし、有効活用を検討してまいります。
- Q 「加曾利貝塚」のさらなる充実や活性化を。
- A 縄文春まつり・秋まつりの充実、縄文体験の外部委託などにより集客力の向上に努めるとともに、発掘調査を継続する中で、市民が参加できる仕組みづくりを進め、特別史跡にふさわしい整備・活用を検討する。
- Q 博物館のさらさらな市場で感じられる取り組みを。図書館、埋蔵文化財調査センターをはじめ、博物館や文化施設の連携を。ボランティアや市民の力の活用を。
- A 今後は市美術館とも連携し、加曾利貝塚・埋蔵文化財調査センターの考古資料を美術的に展示することを検討してまいります。加曾利貝塚や郷土博物館では多くの市民ボランティアが活動しているが、今後も参画の機会を広げていくとともに、各地域で活躍できるような手法も検討してまいります。

亀井はこう考える! 歴史や文化を大切に作る品格・風格ある千葉市を!

本市はこれから「市制施行100周年」(2021年)、「千葉開府900年」(2026年)と数々の節目の年を迎えます。市民が千葉市の歴史を身近に感じられるようなまちを目指して、質問・提案を行いました。私からは、地域における歴史・伝統の保存のために、地域に点在する古文書等の積極的な調査・保存・利活用をはじめ、市所蔵の歴史的資料のデジタル化による利活用や、専門的知識や意欲を有する学芸職員の配置・育成によって、本市の各博物館機能のさらなる充実を求めました。同時に郷土博物館や加曾利貝塚の施設の充実・有効活用、展示の充実なども提言しました。
また、市内には多くの歴史的名所が存在します。名前や由来にロマンが感じられる「君待橋」をはじめ、歴史的名所・財産の活用や活性化とともに、より理解が深まるような、わかりやすい案内表示の取り組みを求めました。これからの取り組みでは、美術館、図書館など、他の文化施設との連携や市民・ボランティアの活用を通じて、地域のさまざまな施設・場所で歴史を感じられるような工夫が大切と考えます。千葉市に生まれ、千葉市に生きるひとりとして、悠久の歴史に思いを馳せ、もっと良いまちになるよう行動していく決意です。

(3)

予算委員会でも皆様の声を届けました! (3月2日・6日教育未来分科会にて発言)

- 発達障がいのあるこどもたちへの支援強化を!
- 児童相談所の機能強化の一時保護所の環境整備を!
- 成人相対への障がいのある新成人の参画促進を!
- 学校におけるセクハラ問題とその対応強化を!
- 高原千葉村廃止後の中学校「自然教室」の充実を!
- 学校のバリアフリー・障がいの理解の推進を!
- 日本語指導を必要とするこどもへの支援を!
- 特別支援教育の充実(障がい・医療ケアのこどもへの支援)を!

皆様の声を実現! ~あの質問・提案はどうなった?⑩~

ひとり親家庭の自立支援を。離婚後の養育費の着実な確保の支援を!(平成29年6月議会質問)

→今年度から、弁護士による養育費相談・面会交流に関する法律相談が実施されることになりました。
詳しくは→こども家庭支援課 ☎245-5179

重点密集住宅市街地に 感震ブレイカーを配布!

平成30年度稲毛東5丁目、平成31年度に椿森3丁目は無償配布されます。
その他の11地区は設置費用の補助制度が創設されます。詳しくは→消防局予防課☎202-1613

密集住宅市街地は市内13地区!

- 重点2地区
[中央区] 椿森3丁目
[稲毛区] 稲毛東5丁目
- 一般11地区
[中央区] 椿森1、弁天2、院内2、道場北1、道場南1・2、旭町、亀井町、葛城2・3、
[稲毛区] 穴川2・3、稲毛2・3
[花見川区] 検見川町2・3・5、幕張町1~4



【感震ブレイカー(パネ式)】

市政へのご意見は。

TEL/FAX 043-255-8108
携帯電話 090-3694-4173

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします!お手紙も大歓迎です!

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>

メール DQG06110@nifty.ne.jp

フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています! **亀井たくま** でご検索ください!

亀井たくま(38歳)、日々修行中です!!

1980(昭和55)年3月生まれ。中央区椿森出身・在住。
・作草部幼稚園・都賀小・中央区椿森
・市立千歳高・早稲田大学政治経済学部
・早稲田大学大学院公共経営研究科修了。
2007年市議選で21票差で落選。2011年、2015年当選。

地域の仕事

- ・千葉市スポーツ推進委員
- ・千葉市青少年相談員
- ・院内小、椿森中地区団体役員
- ・椿森3丁目・5丁目地区役員
- ・千葉ライオンズクラブ役員

- ・行政書士・社会福祉士
- ・精神保健福祉士・愛玩動物飼養管理士
- ・防災士・ホームヘルパー2級

議会の仕事

- ・議会運営委員会副委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・保健所運営協議会委員

趣味 →昭和の懐メロ。童話・唱歌。
好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎。
(地域で演奏・茶話会のボランティアができます)

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします! —
ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。
郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会
最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!

(4)